

## 神戸市教育委員会改革方針 2021

神戸市教育委員会では、垂水区中学生自死事案に係る一連の不適切な対応や後を絶たない教職員の不祥事を受けて設置した「組織風土改革のための有識者会議」から二度にわたり提出された中間とりまとめに基づき（最終報告書は令和元年9月に提出）、平成31年4月1日に「神戸市教育委員会改革方針」を策定し、組織風土改革に取り組んできました。

そのような中、令和元年9月に須磨区小学校における教員間ハラスメント事案が発覚し、それを受けて、令和2年2月に「神戸市立小学校における職員間ハラスメント事案に係る調査委員会」から調査報告書が、令和3年1月に「教員間ハラスメント事案に係る再発防止検討委員会」から報告書が提出されました。

これらの附属機関や有識者会議からいただいた様々な提言や意見を真摯に受け止め、「神戸市教育委員会改革方針」を改め、新たに「神戸市教育委員会改革方針 2021」を策定します。このような事案を二度と起こさないという強い決意のもと、子どもの権利を守り、子どもたちの健全な育成を図るため、下記の5つの方針に基づき、事務局と学校園が一体となって、再発防止の取組や組織風土改革をより一層推進し、神戸の教育行政に対する信頼の回復に努めてまいります。

### 記

#### 1. 学校園への支援の充実及びガバナンスの強化

事務局内の指揮命令系統の明確化や縦割り意識の解消、所属間の連携強化等、事務局の組織体制の強化を図ります。また、事務局と学校園の情報共有と連携を深め、学校園への支援の充実に努めるとともに、教育委員会のガバナンスの強化を図ります。

#### 2. コンプライアンスの徹底及び開かれた学校づくりの推進

子どもたちの健やかな成長を第一に、コンプライアンスに基づく教育活動や事務執行の徹底を図ります。また、コミュニティ・スクール（学校運営協議会の取組）を推進して、保護者や地域住民の学校教育活動への参画・協働を促進し、地域とともにある開かれた学校づくりを進めます。

### 3. 学校園の組織力の強化及び教職員の資質向上

各学校園において、校園長がリーダーシップを発揮し、教職員が風通しの良い職場で、いきいきと教育活動に取り組めるよう、教職員の人事制度や研修制度の充実、外部専門家のさらなる活用、働き方改革の推進を行うなど、学校園の組織力の強化や教職員の資質向上に取り組みます。

### 4. ハラスメント防止対策の強化

教職員に対してキャリア段階に応じたハラスメント研修を実施し、ハラスメントに対する意識を高め、ハラスメントを発生させない、許さない、見過ごさない組織文化の醸成を図ります。また、教員間のハラスメントは今後も起こりうるという前提に立ち、早期発見・早期対応につなげるシステムを構築します。

### 5. いじめ防止対策等の推進

「神戸市いじめ防止等のための基本的な方針」や「神戸市いじめ対応のための実施プログラム」に基づき、いじめ防止対策等を推進し、いじめ等の未然防止や早期発見・早期対応を図ります。